

(様式第1号)

## 市民との意見交換会実施報告書

開催日時	令和4年7月23日(土) 14時00分～16時00分			開催場所	東栄地区地域活動センター	
出席議員	氏名	役割	氏名	役割	氏名	役割
	佐藤 昌哉	総括	石井 清則	司会	加藤 鑛一	受付・会場
	小野 由夫	座長・会場	佐藤 久樹	記録・撮影	佐藤 博幸	受付
	本間 新兵衛	会場				
欠席議員	なし					
テーマ	東栄地区の活性化・振興策について					
団体等の名称	東栄地区町内会(会長等11人)、東栄地区自治振興会(役員等3人)				参加者数	14人
実施内容 (概要等)	<ul style="list-style-type: none"><li>東栄地区で実施している地域公共交通(デマンド交通)の現状と改善策等について意見交換を行った。</li><li>東栄地区の各町内会等で抱えている課題とその解決に向けた対応策等について意見交換を行った。</li></ul>					

※主な意見及びその回答は、別紙のとおり

令和4年8月31日

鶴岡市議会議長 様

総務班 代表者 佐藤 昌哉

1 地域公共交通について

(1) デマンド交通

(2) 地域公共交通

参加者の主な意見等	議員の主な発言等	分類			
		I	II	III	選択理由等（自由記載）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ただ鶴岡の中心地へ運ぶだけでなく、途中乗り継ぎできる場所での乗降も考えていただきたい。</li> <li>・ 市役所の周囲へ降車させるのではなく、鶴岡北高・鶴岡工業高などの学校の近くでも乗降させてほしい。</li> </ul> <p>また、庄内病院はじめ医院へ行くためのバスは、もっと早い時間で運行していただきたい。医院側の意向にも沿った時間帯で運行していただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者と運行者側との乗り継ぎで場所について、意見をお聞かせ願いたい。</li> </ul>		○		<p>デマンド交通は、公共交通の代替という考え方だけでなく、地域住民が利便性向上をどこまで求めるのか。乗り継ぎ場所としてのタクシー会社の指定など、利用層のニーズなど地域の話し合いが必要と思われる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ほとんど固定客が利用している。庁舎の資料では、令和3年度は60名、多い年で80名である。</li> <li>・ デマンドを利用する方々は、足が不自由といった方々も多いため乗り換えするのは大変である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主に、デマンドタクシーを利用しているのはどんな方々か？</li> <li>・ 乗り継ぎ場所は大事である。</li> <li>・ 庄内交通が不可ということについては納得できない。</li> </ul>				

分類Ⅰ：今後の市議会活動の参考意見とするもの 分類Ⅱ：執行機関に伝えるもの 分類Ⅲ：議会（常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会等）として調査・検討を行い、その対応を明らかにするもの

2 地域コミュニティの活性化等に関する事項  
 (1) 地域の抱える課題とそれに向けた対応策等

参加者の主な意見等	議員の主な発言等	分類			
		I	II	III	選択理由等（自由記載）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供や若い人の減少で運動会へ出たくても出られない状況だ。60歳を過ぎた方々へ対して走ってくれとは言えない。近隣集落との合併も必要と考えている。</li> <li>・ 合併についても、希望する地域については考えていかなければならないと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東栄地区は地域行事等が多い地域だが、近年 変化してきていると感じることについて何う。</li> <li>・ 市街地においても学区運動会は、児童の少ない町内会では隣接する町内会と一緒にやっている。単体組織では事業活動が成り立たなくなっている状況ではないか。消防団の統合も進められているが、同じ状況ではないか。</li> </ul>	○			<p>コミュニティの最小単位は町内会組織であるが、町内会個々における事業活動の見直しとともに、催事ごとに隣接町内会等と連携した事業実施が、将来は活発化していくのではないかと考える。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書類等の作成が面倒という理由で役員のなり手がいないのが実態だ。</li> <li>・ 老人クラブへ入る人がいない。自分を老人だと思っていない人たちが多くいる。</li> <li>・ 地域が小さいので、2期4年で会長を引き受けているのが現状だ。本当に人がいない。</li> <li>・ 会長は、せめて60歳を経過していないと仕事等の事情から会合へ出ることが困難だ。</li> </ul>		○			<p>町内会や各団体等の役員の業務や事務負担の軽減を図りつつ、役員任期を明確に定め、より多くの住民が地域運営に関わる仕組みは、地域を活性化するうえで重要と考える。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 獅子舞での獅子の後継者がいない。</li> <li>・ 10年間ほど女性のみ出生しており、男性が生まれていない現状だ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 獅子踊り等の継承について考えていかなければならないと思うが如何か。</li> <li>・ 獅子踊りは、若い人でなければ不可である。体力が続かない。いわゆる喧嘩獅子のため。大川渡は、関係者で5年に1度とか、やれるときに獅子踊りを行う地域のような。</li> </ul>		○		<p>地域の伝統文化の継承は、地域の一体感の醸成により、地域活力のベースとなる。他地域の伝統芸能活動の状況もみながら可能な支援をしていく必要はあると考える。</p>

分類Ⅰ：今後の市議会活動の参考意見とするもの 分類Ⅱ：執行機関に伝えるもの 分類Ⅲ：議会（常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会等）として調査・検討を行い、その対応を明らかにするもの

2 地域コミュニティの活性化等に関する事項  
 (2) 藤島地域里山整備活性化事業構想について

参加者の主な意見等	議員の主な発言等	分類			
		I	II	III	選択理由等（自由記載）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的の一つは、道路整備を行い一本の動線で観光地として継承していきたい。現状は、軽トラックしか通行できない道路事情となっている。</li> <li>・ 県指定天然記念物の「添川の根子杉」から大森山「四阿展望台」の間は、徒歩で約20分、草刈り作業は約1時間程度である。</li> <li>・ 地元の子どもたちが、初めて見てこんな場所があるのかと、景色に感動していた。子どもたちの郷土愛を育むためにも、この活動は大切である。ボランティアだが、頑張って続けていきたい。</li> <li>・ 現在、案内板が傾いている。</li> <li>・ 工事費等が少額なものは、すぐに対応願いたい。何度も教育委員会に改修をお願いしているが、是非対応してほしい。活動への行政の支援はお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 添川地区は、少なからず山間地、傾斜地を抱えており、鳥獣害等の被害も想定されるが、この活動によって結果的に、被害防止にも役立っているところもあるのではないか。</li> </ul>		○		子どもたちが、地域を知ることによって育まれる郷土愛は地域を活性化する。「藤島地域里山整備活性化事業」による地道な地域住民のボランティア活動は大事であり、継続的な支援は必要だと考える。

分類Ⅰ：今後の市議会活動の参考意見とするもの 分類Ⅱ：執行機関に伝えるもの 分類Ⅲ：議会（常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会等）として調査・検討を行い、その対応を明らかにするもの